

京都府医療企画課：こども健康情報管理事業ちやいるす

住民の健康意識向上を図る



課題

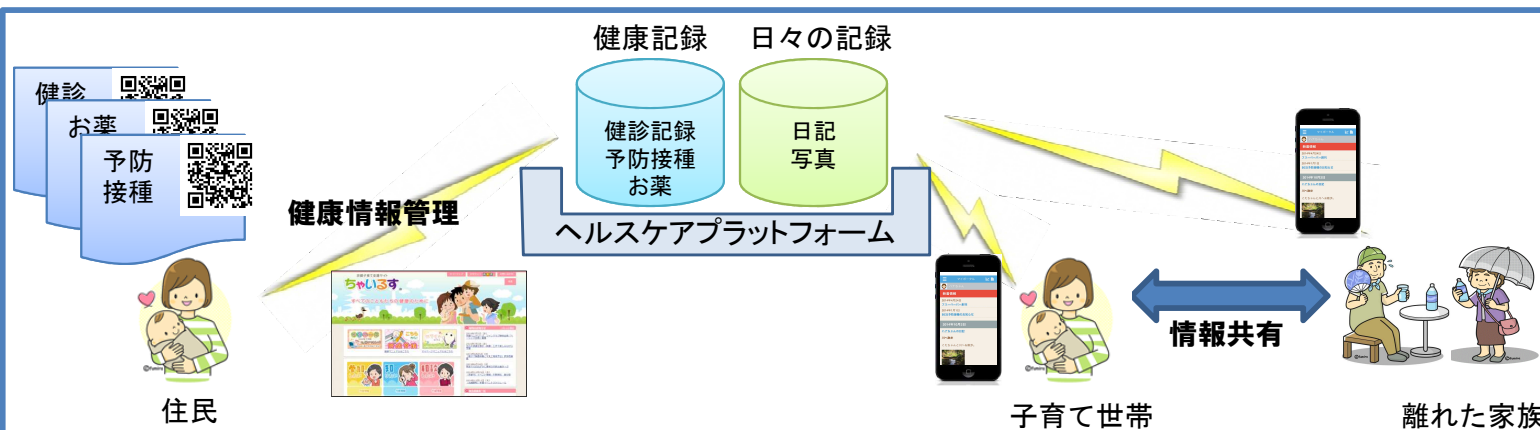
- ✓ 健康長寿を目指すため、住民が主体的に健康情報を管理できるよう、医療ID・マイナンバーを見据えたセルフヘルスケアを推進するヘルスケアプラットフォームを構築する必要がある。
- ✓ 離れた家族間同士でも日々の生活や健康の記録を共有できる仕組みを構築することが求められる。

提案内容

- ✓ 地域に一つ住民の健康情報（乳幼児健診、予防接種、お薬記録等）を蓄積できるセンターサーバを設置し、クラウド上で住民自らがこどもの健康情報を管理できるこども健康情報管理システムを構築。
 - ✓ 市町村が行っている乳幼児健診の記録を住民自らQRコードを利用してシステム登録できる機能を実装。
 - ✓ 乳幼児期に接種した予防接種記録を住民自らQRコードを利用してシステム登録する機能を実装。
 - ✓ 全国で普及しつつある電子お薬手帳の情報について、住民自らQRコードを利用して蓄積する機能を実装。
- ✓ 離れた家族同士お互いの活動やこどもの成長を見守ることが出来る、家族間の情報共有をスマホアプリで実現。（祖父母、親、孫と共有）

成果・効果

- ✓ 市町村、関係団体（医師会等）、民間団体（地域NPO、地元企業等）との協力体制を構築し、街全体で健康意識向上の環境を整備。
- ✓ 京都市内4分の1の分娩数（約2000人/年）を誇る医療法人との共同で利用促進活動を実施。
- ✓ システム導入後1年間で約2500人会員登録者数を獲得。
- ✓ 健診・予防接種情報の連携について、府内10市町村で連携を実施。平成27年度には4市町村と連携する予定。



【問い合わせ先】

株式会社 NTTデータ関西
公共ビジネス事業部 第二公共統括部
第二公共システム担当
担当：近藤、村松、池田

TEL:050-5545-3524
FAX:06-6455-3272